

AZIS

a stone work

AZISound

アジス デスクトップ オーディオ コンポ

デスクトップ アナログ アンプ ■type302
デスクトップ スピーカー ■type320 サブウーファー ■type350

S1

取扱説明書 / 保証書

このたびは、アジス デスクトップ オーディオ コンポ S1をお買い上げいただきまして
誠にありがとうございました。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みになり、製品を正しく安全にお使いください。
なお、保証書が付いておりますので、お読みになった後も大切に保管してください。

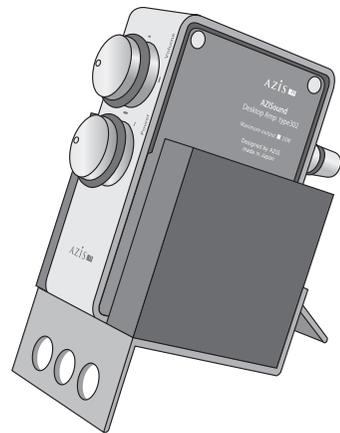


本製品は、業務用に対応していません。 **家庭用**

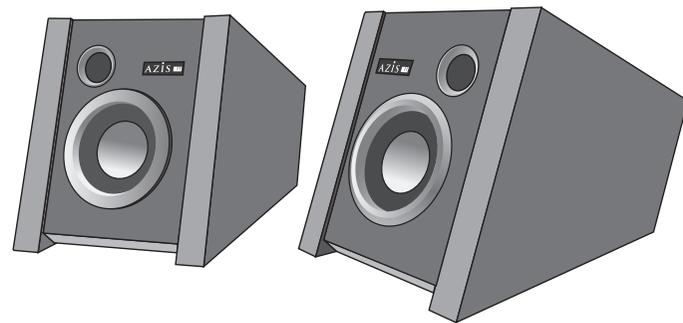
本製品は、外国では使用できません。 For use in Japan only.

日本国内専用

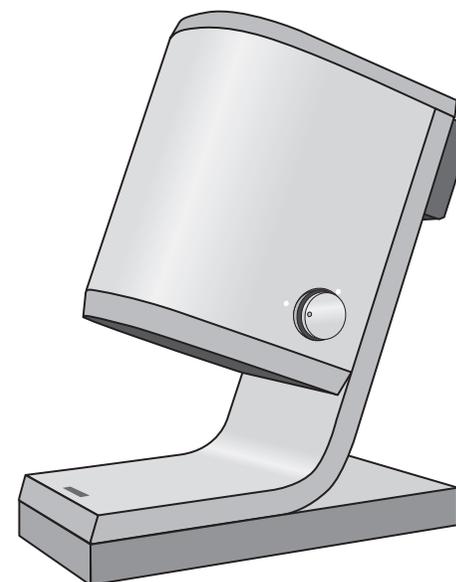
S1 AZIS Desktop Audio Compo



デスクトップ アナログ アンプ
type302
(以下デスクトップアンプと呼びます)



デスクトップ スピーカー
type320



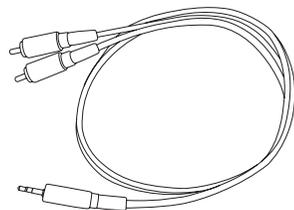
サブウーファー
type350

Index

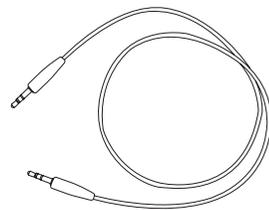
安全上の注意 1	1
安全上の注意 2	2
安全上の注意 3	3
仕様	4
各部の名称とはたらき	5.6
接続のしかた	7.8
音源機器との接続	9
使用手順	10
お手入れのしかた・故障かな?	11
アフターサービス	12
保証書	裏表紙

付属品

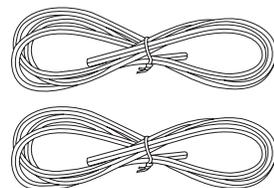
フォンジャック用ケーブル



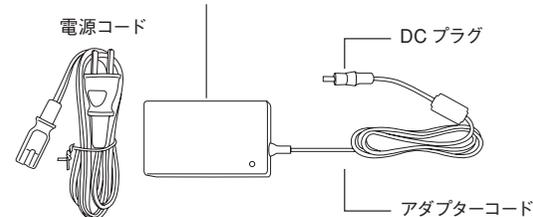
サブウーファー用ケーブル



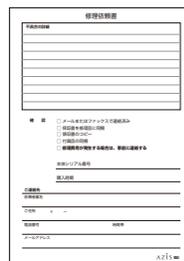
デスクトップ スピーカー用ケーブル
2本



アナログ アンプ用 AC アダプター

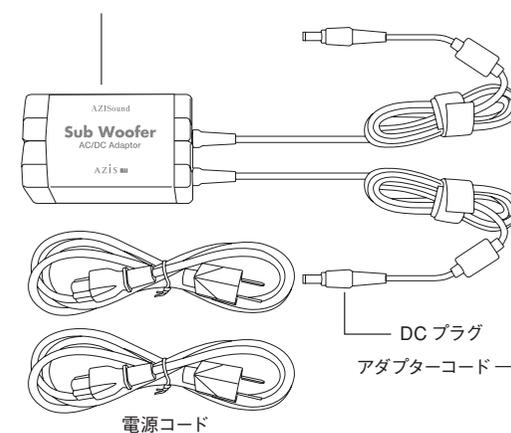


取扱説明書/保証書
(本書)



修理依頼書

サブウーファー用 AC アダプター



同梱物の確認

本製品には、上記のものが同梱されています。
すべて揃っていますか？ 本体や付属品などに損傷はありませんか？
万一、足りないものや不良のものがあつた場合には、
AZIS サービス（12P.参照）までご連絡ください。

音楽などを愉しむためのエチケット
音楽や音色の好みは、個人的な嗜好です。あなたには心地良く聴こえても、他人にとっては不快になるというケースがあり、騒音トラブルの原因にもなります。そこで、音もれ、音量、使用する時間帯などを考慮してご使用ください。使用する部屋や建物の構造にもよりますが、集合住宅等で使用する場合には、特にご注意ください。

- ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。
- 注意事項は、誤った取扱いで生じると予想される内容を、その危害や損害の程度により「警告」「注意」に分けて明示しています。また、各事項には、「強制および指示行為」「禁止行為」「注意喚起」の絵表示が付いています。

警告

ここに示した注意事項を守らずに誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

ここに示した注意事項を守らずに誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害を受ける可能性が想定される内容を示しています。

電源について



電源は、日本国内の家庭用交流（AC）100V/50・60Hzを使用してください。他の電源（電流電圧）を使用すると、故障や感電、火災などの原因となります。



電源は、家庭用のコンセント（100V）からお取りください。家庭用と異なるコンセントを使用すると、故障や感電、火災などの原因となります。

コンセントについて



取付けが悪かったり（ガタついたり）、差込み口のゆるいコンセントは、使用しないでください。感電や火災などの原因となります。

電源コード／電源プラグについて



濡れた手で、電源プラグの抜き差しをしないでください。感電の原因となります。



電源コード／電源プラグは、傷付けたり、加工したり、無理に曲げたり、物の下敷きにしないでください。感電や火災などの原因となります。



傷付いたり、変形・破損した電源コード／電源プラグは、使用しないでください。感電や火災の原因となります。



電源プラグは、コンセント（差込み口）に、根元までしっかりと差込んでください。差込みが不完全の場合は、感電や火災などの原因となります。



電源プラグをコンセントから抜く際は、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷み、感電や火災などの原因となります。必ず、電源プラグを持って抜いてください。

設置／使用場所について



風呂場やシャワー室など、水がかかったり、湿気の多い場所では使用しないでください。故障や感電などの原因となります。



調理台や熱器具など、火気や熱源の近くで使用しないでください。故障や火災などの原因となります。



本機は室内用です。屋外では使用しないでください。故障や感電などの原因となります。



平らで安定した机などの上に設置してください。傾いていたり、不安定な場所から本機が落下した場合、故障やケガなどの原因となります。



風通しが良く、周囲や上部に10cm以上の間隔がとれる場所に設置してください。熱がこもると故障などの原因となります。



窓際など、直射日光が当たる場所には設置しないでください。内部温度が上がり故障などの原因となります。

使い方について



本機は日本国内用です。外国では使用しないでください。規格外の電源（電流電圧）は、故障や火災などの原因となります。



分解したり、改造、修理をしないでください。故障や感電、火災などの原因となります。※修理は、AZISサービスで受け付けております。



水（液体）をかけたり、内部に異物を入れないでください。故障や感電、火災などの原因となります。



ACアダプターなどの付属品は、本機専用の純正品を使用してください。他のものを使用すると、故障や火災などの原因となります。



長期間使用しない場合や、移動したり他機器との接続をする際は、火災や感電などを避けるため、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。



雷が鳴りだしたら、火災や感電などを避けるため、直ちに使用を中止し（電源を切り）、電源プラグをコンセントから抜いてください。



変な音や臭い、煙が出るなどの異常が発生した場合は、直ちに使用を中止し（電源を切り）、電源プラグをコンセントから抜いてください。異常な状態での使用は絶対にお止めください。感電や火災などの原因となります。

使い方について



警告



強制

本機は家庭用です。業務用またはそれに準じる用途で使用しないでください。故障や火災などの原因となります。



禁止行為

仰向けや横倒しで使用しないでください。故障や火災などの原因となります。



禁止行為

テーブルクロスなどのカバーをしないでください。内部に熱がこもり、故障や火災などの原因となります。



注意



強制

大きな音で長時間聴き続けることは、お止めください。聴覚に悪影響を及ぼすことがあります。



禁止行為

小さなお子様やペットがいる場合は、悪戯されないように注意してください。ケガや故障、感電などの原因となります。



禁止行為

本機の上に、物や機器などを積み重ねないでください。落下した場合、ケガや故障などの原因となります。

お手入れについて



警告



プラグを抜く

お手入れの際は、感電や故障などを避けるため、事前に（各機器の）電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。



分解禁止

分解や改造、修理をすることは、絶対にお止めください。故障や感電、火災などの原因となります。



水洗い禁止

水に漬けたり、水洗いをしないでください。故障や感電、火災などの原因となります。



注意



強制

電源プラグやコンセント（差込み口）に付着したゴミやホコリは、必ず掃除機などで取り除いてください。ゴミやホコリが湿気を帯び、漏電から火災などの原因となります。



禁止行為

シンナーやベンジン、アルコール、洗剤やクレンザー、化学雑巾や金ブラシ、除光液などは、使用しないでください。傷付いたり、変色、故障などの原因となります。



強制

製品を落さないように注意してください。ケガや故障などの原因となります。

Specifications

アジス デスクトップ オーディオ コンポ S1

最大出力	デスクトップ アナログ アンプ 20W × 2
	サブウーファー 50W
周波数特性	40Hz ~ 20KHz
スピーカーユニットサイズ	デスクトップスピーカー 5cm サブウーファー 12cm
スピーカーインピーダンス	デスクトップスピーカー 8 Ω サブウーファー 8 Ω
デスクトップアンプ電源電圧	最大 15V
サブウーファー電源電圧	最大 19V × 2
電源	専用 AC アダプター使用 AC100V、50/60Hz
デスクトップアンプ重量	約 2 kg
デスクトップスピーカー重量	約 1.6 kg × 2
サブウーファー重量	約 5.7 kg
総重量	約 10.9 kg
デスクトップアンプサイズ	86W × 194H × 167D (mm)
デスクトップスピーカーサイズ	107W × 118H × 180D (mm)
サブウーファーサイズ	170W × 340H × 255D (mm)

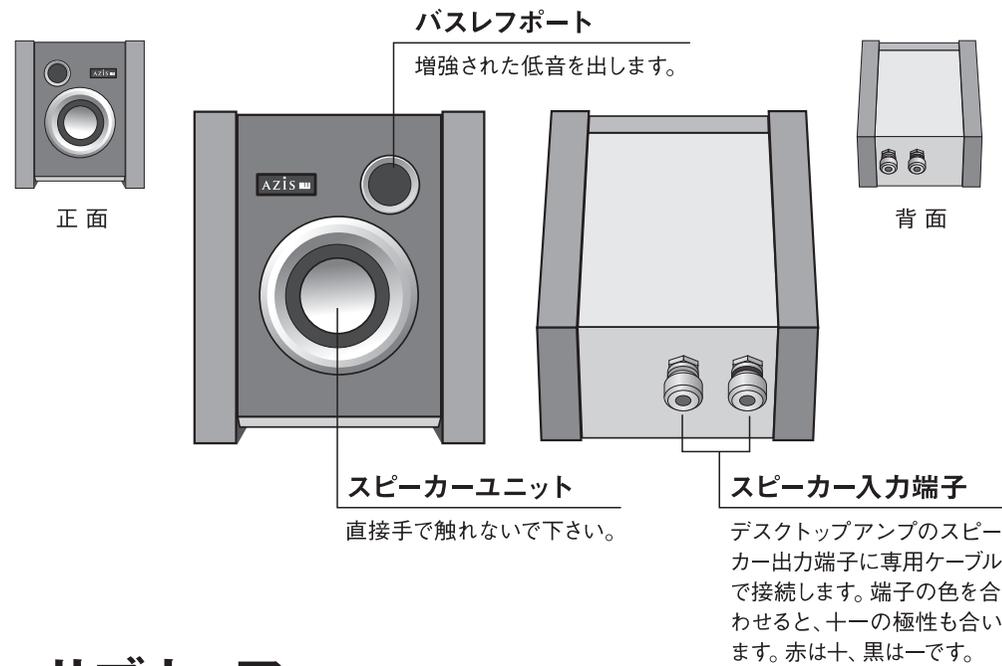
●使い勝手/性能向上のため、予告無しにデザイン/仕様などを変更することがございます。ご了承をお願いいたします。

S1は、小音量で長時間音楽を楽しめるように設定しています。耳障りな音域を抑え、小音量で不足してしまう低音域も楽しめる仕様になっています。快適な音環境創りにお役立てください。

S1は、小型スピーカーを使用しています。大きな音量では、音に歪みが出たり、スピーカーの破損の可能性があります。音量の出し過ぎには注意してください。

S1は、天然素材を用いて、手加工等による製品作りを行っております。それにより、製品ごとに模様やサイズ、重量などが多少異なります。ご了承ください。

デスクトップ スピーカー

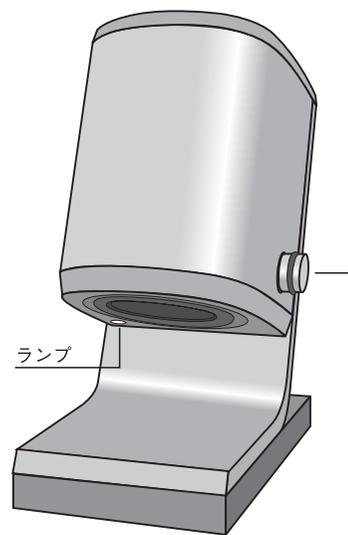


サブウーファー

ウーファーヴォリューム

低音の出力バランスを調整します。ゴム製キャップをはずし、マイナースタライバーを入れて右に回すと低音の音量が大きくなります。調節後ゴム製キャップは必ず元に戻してください。音質に影響があります。

ウーファーヴォリュームは出荷時に、バランス調整してあります。音量の上げ過ぎは音質を悪くし、スピーカーの損傷をまねきます。



正面

ヒートシンク

内蔵アンプを冷却します。熱くなる場合がありますので、触らないでください。

入力端子

デスクトップアンプのサブウーファー出力端子と専用ケーブルで接続します。

電源入力端子

サブウーファー用ACアダプターのDCプラグ2本を差込み電源を供給します。片方だけでは動作しません。

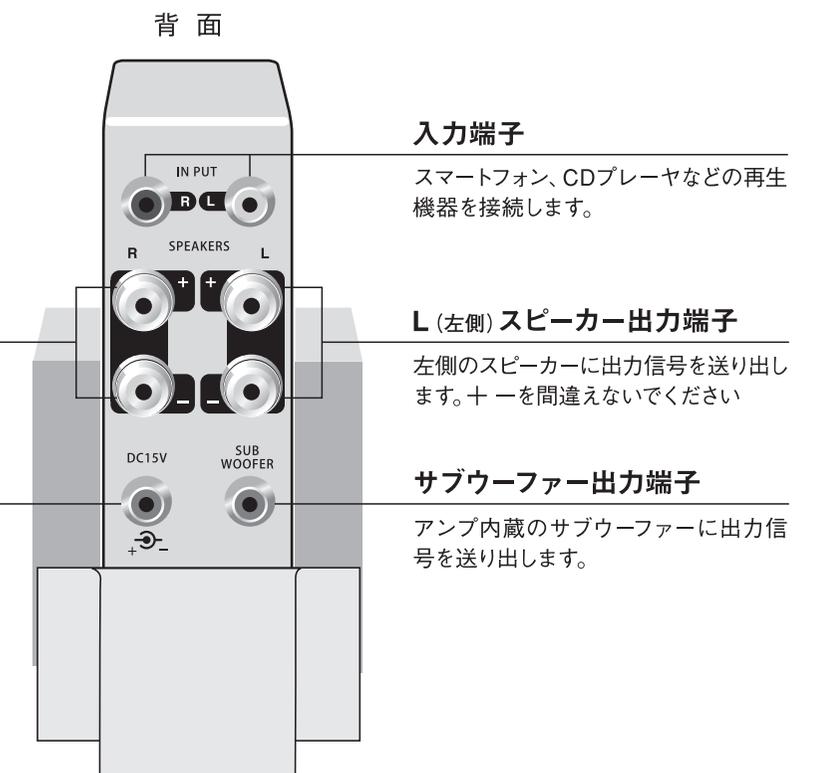
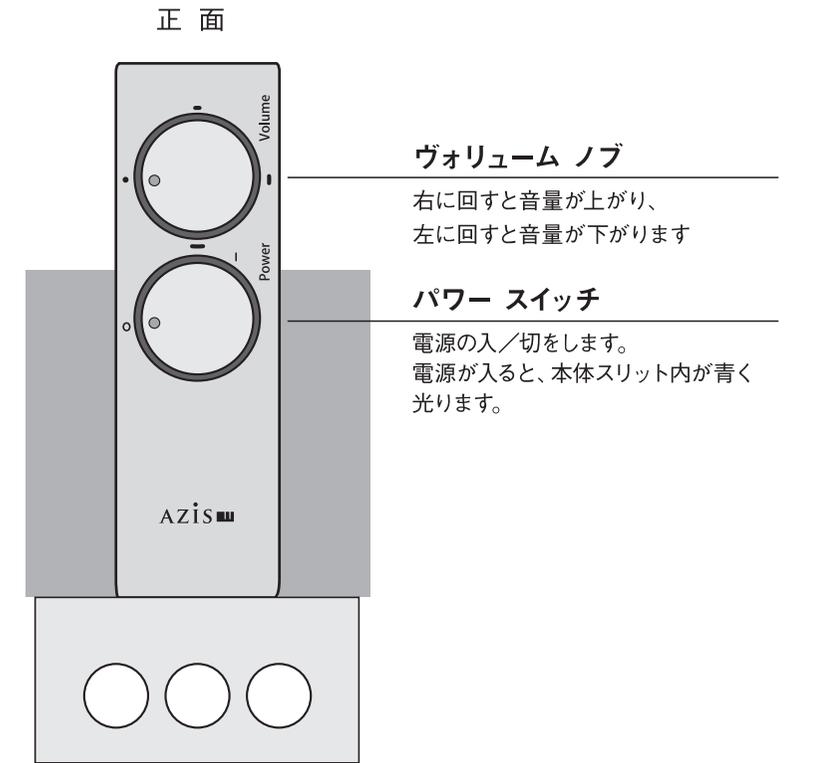
パワー スイッチ

電源の入/切をします。電源が入ると、スピーカー横のランプが点灯します。



背面

デスクトップ アナログ アンプ



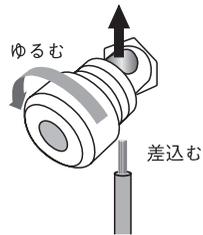
接続する際の注意



・全ての接続が完了するまで、電源を入れたり、電源プラグをコンセントに差さないでください。

- ・接続する端子や使用するケーブル、極性などを誤ると、製品本来の性能を出せないだけでなく、故障や破損の原因にもなりますので、正確に接続してください。特に電源の接続にはご注意ください。
- ・本アンプには、ヘッドフォンおよびレコードプレーヤーは接続できません。
- ・他社製品を接続する場合は、必ず、その製品の取扱説明書も参照してください。

■スピーカーの接続



端子をゆるめると穴がありますので、ケーブルの裸線を差込み、締めてください。なお、バナナプラグの場合は、締めたままご使用ください。

- 1 デスクトップスピーカー用ケーブルを、デスクトップアンプ背面のRおよびLのスピーカー出力端子（+、-）に、取り付けます。
- 2 Rのスピーカー出力端子に取り付けたデスクトップスピーカー用ケーブルは、右側に置くデスクトップスピーカー背面のスピーカー入力端子（+、-）に、つなぎます。Lのスピーカー出力端子に取り付けたデスクトップスピーカー用ケーブルは、左側に置くデスクトップスピーカー背面のスピーカー入力端子（+、-）に、つなぎます。このとき、極性（+-）を間違えたり、ケーブルの裸線同士が接触（ショート）しないように注意してください。

■サブウーファースの接続

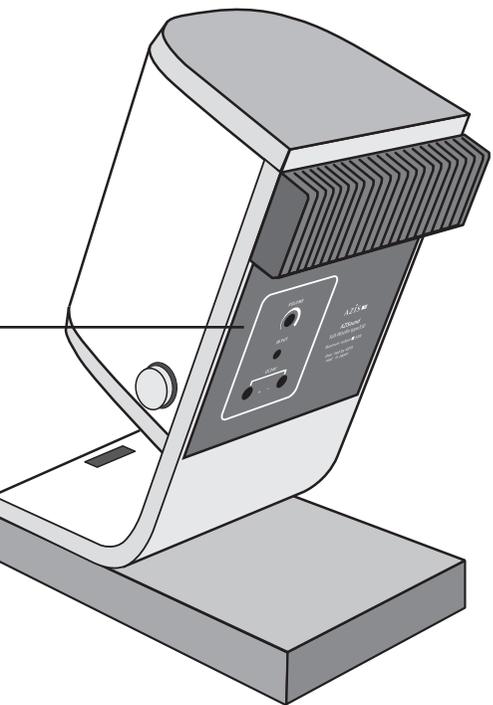
- 3 サブウーファー用ケーブルをデスクトップアンプ背面のサブウーファー出力端子とサブウーファー背面の入力端子に差込みます。

デスクトップアンプ ■ type302

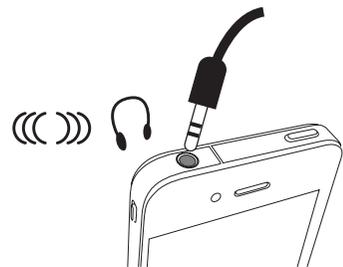
デスクトップスピーカー ■ type320

サブウーファー ■ type350

赤い端子からは赤い端子へ、黒い端子からは黒い端子へケーブルをつなぎます。

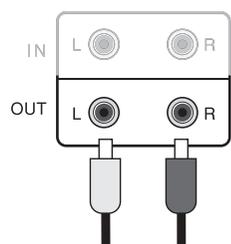


2本ともコンセントにつないでください。片方だけでは動きません。



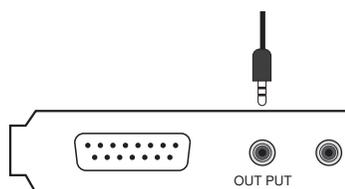
■スマートフォン 携帯オーディオプレーヤーとの接続

フォンジャック用ケーブルをスマートフォンおよび携帯オーディオプレーヤーのフォンジャック(出力端子)とデスクトップアンプ背面の入力端子(R、L)に差込みます。



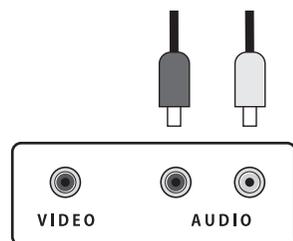
■CDプレーヤーとの接続

RCAケーブル(※)をCDプレーヤーのアナログ出力端子とデスクトップアンプ背面の入力端子(R、L)に差込みます。
なお、PC用の外付けDVD/CDドライブとは接続できません。
※RCAケーブルは付属しておりませんので、別途ご購入ください。



■PCとの接続

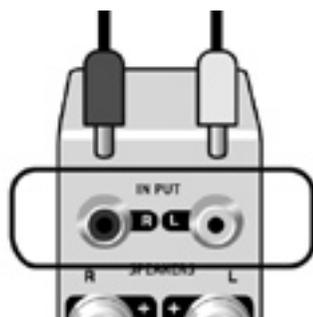
PCとの接続には、フォンジャックを利用する方法と、オーディオ・ボードの出力端子から接続する方法があります。機種ごとに違いがありますので、ご注意ください。



■TV/ゲーム機との接続

RCAケーブルをAV出力端子とデスクトップアンプ背面の入力端子(R、L)に差込みます。

デスクトップアンプ背面の入力端子



機器に電源を入れた状態で、ケーブル/プラグを抜かないでください。

電源の接続

デスクトップアンプとサブウーファー、および給電が必要な機器の電源は、家庭用のコンセント(AC100V、50・60Hz)からお取りください。電源プラグを、コンセント(差込み口)の奥までしっかりと差込みます。



音量を上げた状態で、電源の入/切をしないでください。スピーカーユニットが傷みます。

電源を入れる

- 1 接続されている他機器の電源を入れます。
- 2 デスクトップアンプのパワースイッチを右に回し、電源を入れます。電源が入ると、アンプ本体(スリット)から青い光が漏れてきます。
- 3 サブウーファーのパワースイッチを右に回し、電源を入れます。
- 4 デスクトップアンプのボリュームノブを右に回し、好みの音量に調節してください。

低音域の音量調節

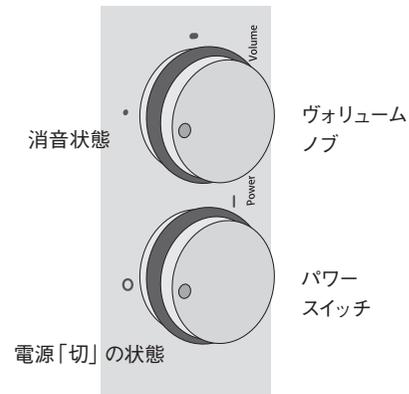
低音域の音量を上げる場合は、サブウーファー背面のウーファーボリューム(穴)にマイナスドライバーを差し込み、中の軸を右に回します。ただし、回しすぎる(=音量を上げすぎる)と、スピーカーユニットを破損する恐れがありますので、ご注意ください。
なお、低音域の音量は、デスクトップアンプのボリュームノブと連動しており、出荷時に調整してありますので、できるだけ、現在のままでご使用ください。

使用を停止する(電源を切る)

- 1 デスクトップアンプのボリュームノブを左に回し、消音の位置まで戻します。
- 2 同アンプのパワースイッチを左に回して0(切)の位置まで戻し電源を切ります。電源が切れると、アンプ本体(スリット)の光りが消えます。
- 3 サブウーファーのパワースイッチを左に回して0(切)の位置まで戻し、電源を切ります。
- 4 接続されている他機器の電源を切ります。

サブウーファーの電源が入った状態で、DCプラグは絶対に抜かないでください。なお、長期間使用しない場合には、必ず、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源を入れる前にこの状態を確認

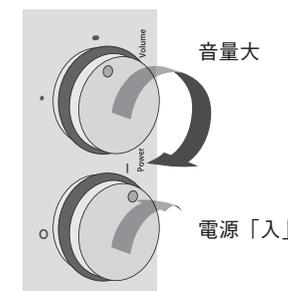


消音状態

ボリュームノブ

パワースイッチ

電源「切」の状態

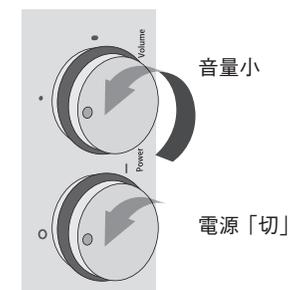


音量大

電源「入」

ウーファーボリュームの調整

音量が小さい時は、ウーファーボリュームはそのままで、音量が大きい場合はウーファーボリュームは少し下げた状態でバランスがとれます。ゴム製のキャップは必ず装着してください。



音量小

電源「切」

お手入れは、製品の品質（性能および音質）を保ち、長くお使いいただくためにも、定期的に行なってください。安全のため、事前に機器の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

デスクトップ アナログ アンプ ■ブローア等でホコリを払い、柔らかい布で乾拭きしてください。シンナー・ベンジン、除光液等で表面をふかないでください。石の部分にもダメージが残り戻りません。

デスクトップスピーカー・サブウーファー ■エンクロージャーは、柔らかい布で乾拭きしてください。スピーカーユニット（特に振動部）は、絶対に直接触れないようにして、ブローアなどでホコリを払うだけにしてください。万一、傷つけると、音質が変化する場合があります。シンナーやベンジン、除光液などで表面をふかないでください。石の部分にもダメージが残り消えなくなります。

接点 ■ターミナルや端子など「接点」部分の汚れ（＝酸化による錆など）は音質に影響を及ぼしますので、消毒用アルコールや接点専用クリーナー（市販）を使って、汚れを落としてください。

電源プラグ・コンセント ■電源プラグやコンセント（差込み口）にゴミやホコリが溜まると、湿気を帯びて（結露による）漏電から発火し、火災になる危険があります。周りにゴミやホコリをみついたら、必ず、掃除機などで取り除くように心がけてください。

本機の調子がおかしいときは、修理を依頼する前に、以下の項目をチェックしてください。それでも改善しない場合には、お求めの販売店または AZIS サービスまでご連絡ください。

音が出ない

- 「接続のしかた」を見て、正しく接続しなおしてみてください。
- 音量は上がっていますか？

サブウーファーの音が出ない
デスクトップスピーカーの音が出ない

- 「接続のしかた」を見て、正しく接続しなおしてみてください。
- 全ての電源が入っていますか？

デスクトップスピーカーの片側からしか音が出ない

- 「接続のしかた」を見て、正しく接続しなおしてみてください。
- モノラルまたはモノラルフォーンジャックで接続すると、片側のスピーカーからしか音が出力されません。ステレオフォーンジャックかモノラル/ステレオ変換ジャックなどをご使用ください。

音が大きくなりません

- 「接続のしかた」を見て、正しく接続しなおしてみてください。
- スマートフォンや携帯オーディオプレーヤーに接続している場合には、それら機器の音量を上げてみてください。

音が大きい、音がひずむ

- 「接続のしかた」を見て、正しく接続しなおしてみてください。
- サブウーファー背面のウーファーヴォリュームを上げすぎではありませんか？
- サブウーファー背面のゴム製キャップは装着されていますか？
- 接続端子を間違えていませんか？取扱説明書もお読みください。

サブウーファーからブザーの様な音が出る

- サブウーファー用 AC アダプターの電源プラグ 2 本、および DC プラグ 2 本が全て接続されていますか？

■使用中に異常が起きた場合は、使用を中止し、左頁「故障かな？」をお読みください。対処後も改善されない場合には、お買い求めの販売店または AZIS サービス（下記参照）までご連絡ください。

■万一、製品が故障や破損した場合には、お買い求めの販売店または AZIS サービスまで、(1) ご購入日 (2) 製品名称 (3) 製品番号（型式番号）(4) シリアルナンバー (5) 故障および破損の状況をご連絡の上、修理の依頼をしてください。

■宅配便などで AZIS サービスに直送される場合は、(1) 保証書（※本書より切り離してください）(2) 故障や破損等の不具合を記入した修理依頼書（付属品）を同梱くださるようお願いいたします。

■保証期間中（ご購入日より1年間）は、保証書に記載されているものについては無償で修理いたします。ただし、以下の場合には、保証期間内であっても有償（有料）になります。

- ・安全および使用に関する注意を無視しての故障や破損
- ・公害および異常電圧/電流、火災や落雷、地震や風水害などの天災地変による故障や破損
- ・一般家庭用以外（業務用、またはそれに準ずる使用方法）および日本国以外で使用した場合の故障や破損、消耗による部品交換
- ・保証書の、ご購入日、お客様の氏名/住所/電話番号、販売店/店舗印の未記入および書面を書き換えたもの

■保証期間を経過したものについては、有償で修理をいたします。

- ・有償の修理では、事前にお見積を提出いたします。
- ・製品の機能を維持するために必要な部品（補修用性能部品）の保有期間は、製品の製造打ち切り後、5年間です。

■保証書は、日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

■保証書は再発行しませんので、大切に保管してください。

AZIS サービス

e-mail **stone@azis.jp**

ファックス **087-871-1707**

電気関係サービス送付先 〒158-0098 東京都世田谷区上用賀 3-8-10

外装関係サービス送付先 〒761-0130 香川県高松市庵治町 10-7

修理等のお問い合わせはメールとファックスで承っております。

迅速に担当者からご連絡さしあげます。

AZIS サービスでお受けしたお客様の氏名、住所、電話番号、メールアドレスなどの個人情報は、製品・サービスに関するご相談/お問い合わせ、修理の対応のみを目的として使用し、お客様の同意がない限り、第三者への開示は行ないません。

アジス デスクトップ オーディオ コンポ S1 保証書

製品名称	アジス デスクトップ オーディオコンポ S1
製品番号	S1-DTAC
シリアルナンバー	各製品の銘版に記入してあります
保証の対象	デスクトップ アナログ アンプ type302 デスクトップスピーカー type320 サブウーファー type350
保証期間	ご購入より 1 年間
★ ご購入日	年 月 日
★ お客様	氏 名 住 所 〒 電 話 番 号 メー ル ア ド レ ス
★ 販売店	販売店および店舗印/住所/電話番号

■★印の項目が未記入の場合は無効となり、保証期間内であっても修理は有償になります。

■本保証書は、日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.

■本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管して下さい。

修理等のお問い合わせはメールとファックスで承っております。迅速に担当者からご連絡さしあげます。

e-mail ■ stone@azis.jp ファックス ■ 087-871-1707